



支援企業紹介

岩手県奥州市江刺区

株式会社 丸岩



(株)丸岩の第二工場において、壁や床のパネルを製造する作業の様子。断熱材などを貼付ける加工も行っている。

奥州市にある建築構造躯体のプレカット加工企業、株式会社丸岩^{まるいわ}。大規模な工場を持ちながら、木材の加工のみならず、住宅一棟を構造面で総合的に取り扱う「トータルプレカットシステム」により、東北地方でのシェア拡大を目指す取り組みを紹介。

木造住宅建築の主流となっている プレカット業界に参入

現在多くの住宅建築現場では、プレカット材の使用が主流になっている。プレカットとは建築用の構造躯体をあらかじめ工場加工しておくこと。それまでは、現場でひとつひとつの木材をノミやカンナで削って組み立てていたものを、プレカットを施し搬入することで品質を高い水準で一定に保ちながら、工期の短縮やコストダウンを図れるのが特長。

奥州市の株式会社丸岩は、県内最大規模のプレカット加工企業。平成6年にプレカット業界に参入して以来、取引企業や販売エリアの開拓を進めてきた。平成20年には水沢区から江刺区の江刺フロンティアパークに本社工場移転、工場増設など業務を拡張している。

トータルプレカットシステムとは

プレカットと言っても、企業によって取り扱う分野や工程はさまざまである。その中で丸岩が取り組んでいるのが「トータルプレ

カットシステム」。単に木材の加工を行うだけではなく、住宅一棟ごとの構造計算から生産管理、建て方代行までを請負えることが同社の強み。住宅設計図をもとに伏図^{ひせず}と呼ばれる材木や金具の使用箇所や使用量を示した図面を作成、N値や偏心率、壁量計算など住宅の強度や、木材の使用量などを割り出す。工場ではそのデータをもとにプレカットを行い、検査の後出荷。場合によっては建て方代行までを行っている。

「トータルプレカットシステムによって、ありとあらゆる可能性が広がります」と同社の岩渕専務は語る。家一棟を構造面で総合的に取り扱うことで、耐震性など家の強度からコストまで管理できることもそのひとつ。また東北地方では建売りやモデル型住宅よりも、注文住宅の需要が多い。構造に関わる部分の全てをまかない、まるごとパッケージングできる同社の特長は、まさに東北地方で求められている形と言えるだろう。

岩手をはじめ、青森、秋田、宮城、山形の

今月の表紙

株式会社丸岩の岩渕専務取締役(表紙写真右)は、同社の将来を担う人材。大学卒業後、奥州市に戻ってからプレカットやCADでの図面作成のノウハウを学んだ。プレカット業界のさらなる可能性を探り、「トータルプレカットシステム」の普及に力を注いでいる。

Power of business human in Iwate

東北地方の、木造住宅の流通拠点に！
製造業における付加価値と、人材育成がカギ

東北5県に販路を持つ丸岩。奥州市はそのエリアのちょうど中心に位置し、流通拠点として地の利も働く。「最終的には、東北地方の木造住宅の流通拠点になることを目指しているんです」と岩淵専務。東北5県の中でさらに販路を広げ、工場の稼働率を上げることが目下の目標だという。

人は財産、職場環境を整備

50人あまりの従業員を抱える丸岩では、人材育成にも力を入れている。「人は財産」という考えから、社員研修制度や意識改革に積極的に取り組んでいる。生産のフォローのため、従業員1人が2基以上の機械を扱えるようにするなど、技術の向上にも余念がない。

新卒採用も意欲的に行って来たが、中途での入社も多い。そのため、給与や評価に一定の基準を設ける必要があり、産業振興センターのアドバイスを受けながら人事評価システムを取り入れている。同センターとの付き合いは30年近くにも及び、「経営面で相談をしたり、頼りにしています」と岩淵社長は語る。今年に入ってからは再雇用制度の見直しも図った。従来は60歳で定年後、65歳までの再雇用の機会を設けていたが、従業員の申し出により、再雇用を70歳まで延長した。「65歳の従業員が、若い人にも負けず元気に



株式会社丸岩

【代表取締役】岩淵 宣郎

【所在地】奥州市江刺区

岩谷堂字袖山 11-36

【電話】0197-31-1261

【FAX】0197-36-8626

【URL】<http://www.maruiwa.biz/>

代表取締役 岩淵 宣郎

1942年奥州市水沢区生まれ。法政大学卒業後、東京都で石油元売企業の営業職を経験したのち帰郷。同社の前身である、有限会社丸岩商店でのガソリンスタンド経営に着手。84年の社長就任後、94年よりプレカット業務に参入。

働いてくれますよ」と高橋統括副本部長がにこやかに語ってくれた。業務の心臓ともいえるCADや大型のプレカット機械も無くてはならないが、それらを操る従業員が仕事にやりがいを感じられる職場環境を整備する意識の高さが滲む。

東北地方の建設業界に新たな風を

リーマンショック以来、住宅業界は全国的に着工数が一昨年の110万戸から、去年は78万戸に減少するなど厳しい面もある。しかし木造建築への関心は年々高まっており、その面ではプレカット業界に追い風が吹いていると言える。構造計算なども含め、さまざまな要望に対応できる丸岩の「トータルプレカットシステム」が、東北地方の建築業界に無くてはならない存在になる日もそう遠くない。

< P.3 写真 >

1	4	5
2	3	6

1. 柱材などを加工する第一工場にて。このほかに千坪を超える第二工場や倉庫のほか、木くずを再利用するためのサイロなども設置
2. 資材の発注や配送手配を行う事務所。写真奥の木肌がむき出しになった構造躯体は、設計上のこだわり
3. 広い工場の中をフォークリフトが行き交う
4. 寸分の狂いも無くカットされた構造躯体の切断面
5. CADで作成された「伏図」は、プレカットの命
6. 50人あまりの従業員を抱える(株)丸岩。第二工場にて、若手従業員のみなさんと岩淵社長(手前左)、岩淵専務(手前右)

